

開講 8月

応募締切 7月14日

授業料 無料
※別途テキスト代が必要です

駐車場 有料

ハロートレーニング

公共職業訓練 7-39

ITエンジニア 養成科(大分②)

POINT

就職活動までサポート
パソコン初心者でも安心



取得可能な資格

ITSS レベル2：基本情報技術者試験 IT パスポート試験 Web クリエイター能力認定試験（スタンダード）
情報処理技能検定試験（表計算）初段 日本語ワープロ検定試験 初段 プレゼンテーション作成検定試験 1 級

募集要項

受講資格	1. 訓練を受講することが再就職の促進に資すると判断され、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦又は支援指示を受けた方 2. 過去1年以内に公共職業訓練又は求職者支援訓練（実践コース）を修了したことがある方は、公共職業訓練の受講はできません。
募集定員	30名 ※応募者数が少ない場合は募集期間の延長や訓練の中止をする場合があります。
応募書類 及び 提出方法	「入校願書」は所在地を管轄するハローワークで相談の上、お受け取り下さい。 「入校願書」を下記提出先まで持参、郵送又は電子申請で提出してください。郵便物の配達期間を考慮し、提出物は余裕を持った発送をお願いします。（締切後の書類は受理できません。） なお、電子申請方法については下記提出先にお問い合わせ下さい。
募集期間	令和7年5月20日（火）～令和7年7月14日（月）（締切厳守）※最終日は17:00必着
提出先	大分県立大分高等技術専門校 所在地：〒870-1141 大分県大分市大字下宗方1035-1 TEL：097-542-3411
選考	日時：令和7年7月17日（木）受付時間 9:15～9:45 場所：大分職業訓練センター（所在地：大分市大字下宗方1035-1）※駐車場 有 方法：適性検査、個人面接 持ち物：筆記用具、（電子申請の場合、入校願書の原本） 注）受験票は送付しません。選考試験日に必ずお越しください。
合格発表	令和7年7月25日（金）14:00～ ※別途、合否について文書により通知します。
受講手続き に関する お知らせ	受講にあたっては、誓約書（要保証人）の提出が必要です。
入校説明会	令和7年8月5日（火）10:00～ 場所：コンパルホール309会議室 ※有料駐車場 有
受講指示日	令和7年8月21日（木）各ハローワーク（雇用保険受給者のみ）
訓練	期間：令和7年8月22日（金）～令和8年2月20日（金） 場所：ゴードービジネスマシン株式会社（所在地：大分市下郡北1丁目2-12） 時間：9:00～15:30（予定 土・日・祝日、12/30～1/3を除く）
必要経費	受講料は無料です。（ただし、教科書・教材費9,306円程度及び資格取得受験料は自己負担となります。） ※職業訓練生総合保険の保険料 4,900円 + 振込手数料（任意加入）
車通学	訓練場所 駐車場 有（5,000円/月）※台数に限りがあります。

（注）本人確認ができるものを持参の上、大分高等技術専門校で口頭による総合得点及び順位の開示請求（発表後1ヶ月間）が可能です。ご提出いただいた入校願書（写真を含む）、その他の応募書類は返却できませんので予めご了承ください。
※個人情報の取り扱いについて、応募書類にて知り得た個人情報は訓練実施以外の目的には利用しません。
※悪天候、感染症予防等により、選考試験や入校説明会、訓練期間等が変更になる場合があります。



ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

◆入校願書提出後の流れ



◆注意事項

- 修了日から3ヶ月以内に就職状況を報告していただきます。
- 訓練期間中に、キャリアコンサルティングを受けていただきます。
- 訓練修了が見込めない、または、訓練期間中に授業の進行を妨害したり、訓練担当職員の指示に従わず秩序を著しく乱したり、欠席・遅刻・早退が多いときは、退校していただくことがあります。

委託訓練カリキュラム

受託機関名 ゴードービジネスマシン株式会社

訓練科名		Ⅱ エンジニア養成科(大分②)		就職先の職務	・プログラマー ・アプリケーションエンジニア ・サーバーエンジニア ・システムエンジニア など	
訓練期間		令和 7 年 8 月 22 日 ～ 令和 8 年 2 月 20 日 (6ヶ月)				
訓練目標		・上位者の指導の下に、次のいずれかの役割を果たす。 ① 組織及び社会の課題に対する、IT を活用した戦略の立案、システムの企画・要件定義に参加する。 ② システムの設計・開発、汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）によって、利用者にとって価値の高いシステムを構築する。 ③ サービスの安定的な運用の実現に貢献する。 ・ITSS レベル 2 相当の国家資格「基本情報技術者試験」の取得及び実践力を身に着け、さらに上位レベルの資格取得を目標とする。				
訓練内容	学科	科目		訓練の内容		時間
		オリエンテーション		入校時、修了時オリエンテーション		6時間
		就職支援		受講動機、コミュニケーション、自己理解・仕事理解、ビジネスマナー、職業倫理、健康管理、就職活動の進め方、求人動向、求人情報の収集、ジョブ・カード作成支援、履歴書・職務経歴書作成支援、面接対策、キャリアコンサルティング等		60時間
		基礎理論		離散数学、応用数学、情報に関する理論、通信に関する理論、計測・制御に関する理論		45時間
		システム戦略		システム戦略、システム企画		30時間
		経営戦略		経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ		24時間
		企業と法務		企業活動、法務		24時間
		コンピュータシステム		コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア		24時間
	実技	アルゴリズムとプログラミング		データ構造、アルゴリズム、プログラミング、プログラム言語、その他の言語		24時間
		技術要素		インタフェース設計、マルチメディア技術、データベース、ネットワーク、セキュリティ		60時間
		開発技術		システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術		30時間
		プロジェクトマネジメント		プロジェクト、プロジェクトマネジメント、PMBOK(5つのプロセス群、10の知識エリア)		24時間
		サービスマネジメント		サービスマネジメントシステムの計画及び運用、パフォーマンス評価及び改善、サービスの運用、ファシリティマネジメント、システム監査、内部統制		24時間
		プログラミング演習		疑似言語、プログラミングの基礎、プログラム設計、プログラミング、テスト		174時間
		データ集計演習		表計算ソフトの基本操作、書式設定、データ集計の基本（関数・数式の挿入、ピボットテーブル）、データの見える化（グラフ作成等）		48時間
		文書作成・プレゼン作成演習		ワープロソフトの基本操作、文書の編集・書式設定、ビジネス文書の作成 プレゼンテーションソフトを使用したスライドの作成とプレゼンテーション演習		45時間
		Web ページ作成演習		HTML の基礎、スタイルシートの活用、Web ページの修復		60時間
		職場見学		情報通信分野の企業見学、施設・業務内容説明、質疑応答		12時間
		訓練時間総合計 714時間（学科 213時間、実技 501時間）				
取得可能な資格 (資格名・実施団体名・試験日・合格発表日・必要経費)		ITSS レベル2：基本情報技術者試験		独立行政法人情報処理推進機構	通年実施／随時発表	7,500円
		I Tパスポート試験		独立行政法人情報処理推進機構	通年実施／随時発表	7,500円
		w e bクリエイター能力認定試験(スタンダード)		サーティファイ	通年実施／随時発表	4,200円
		情報処理技能検定試験(表計算) 初段		日本情報処理検定協会	2月実施／3月発表	5,300円
		日本語ワープロ検定試験 初段		日本情報処理検定協会		5,300円
		プレゼンテーション作成検定試験 1 級		日本情報処理検定協会		3,300円
主要な機器設備（参考）		・ノートパソコン（30台） ・レーザープリンター（1台） ・プロジェクター（1台） ・スクリーン（1台） ※ 機器及び施設設備についてはご希望に添えないことがありますので、ご了承ください。				

ITエンジニア養成科（大分②）

■コースの特徴

・パソコンの基礎知識から学べる

Excel, Word, PowerPoint を個々の習熟度に合わせて学べるため、初心者から上級者まで幅広くスキルを習得できます。また、訓練期間中に複数回受験の機会があるため、最終的に上級レベルの資格取得が可能です。

・基本情報技術者試験（国家資格）の合格を目指す

訓練で分かりやすく指導しますので、半年間の訓練期間で国家試験合格に必要な知識を無理なく習得することができます。
また、比較的受験しやすい IT パスポートの資格にも挑戦できるため、幅広い知識を身につけることができます。

・IT 企業または一般企業のシステム管理者としての就職を目指す

IT 関連資格の中でも 基本情報技術者は最も知名度が高い試験であり、この資格を取得すれば就職時に自分が持つスキルや知識を明確に証明できるため 就職に有利になります。

■こんな方に

以下の業種に就職したい方

- (1) IT 業界（プログラマー、システムエンジニアなど）
- (2) 一般企業の社内システム管理者
- (3) ネットワーク、サーバー系技術者

■基本情報技術者とは

- ・ 国家資格であり、IT 全般に関して幅広い範囲から出題される試験です。IT エンジニアに必要な基礎の範囲を国家が定めた試験となります。
- ・ この資格が IT エンジニアとしてのキャリアをスタートするための入り口となる資格です。
- ・ 令和 5 年 4 月から通年試験となり、試験内容が大幅に変更されましたが、当訓練はその変更に対応したカリキュラムとなります。